

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ



シネラ・ニュース No.195

June.2013

特別企画／公開講座

木村栄文レトロスペクティブ

2011年に亡くなった日本を代表するテレビドキュメンタリー作家、木村栄文の代表作を上映。



特別
企画

福岡ユネスコ文化講演会

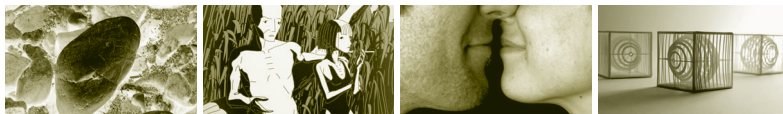
香港映画は二度死ぬ～中国返還以降の挑戦

現在の文化・社会をテーマに開催する文化講演会。

特別
企画

イメージフォーラム・フェスティバル2013

日本最大の実験映像の祭典。日本と世界の最新映像を紹介。



通常
上映

映画の中の黒田藩

黒田藩を舞台にした黒田騒動を描いた2作品を上映。



イメージフォーラム・フェスティバル2013

日本最大の実験映像の祭典。日本と世界の最新映像を紹介。

弟の夢



会期：6月5日(水)～9日(日)

観覧料：1,000円(当日1回券) 800円(前売り1回券) 2,500円(4回券) 4,500円(フリーパス券)

※前売り券はチケットぴあ(Pコード464-694),ローソンチケット(Lコード86268)で販売。

※定員制。各回入替制。 ※障がい者,高齢者及び「わの会」割引なし。

※4回券,フリーパスはお一人様用です。複数人での使用はできません。

主催：福岡市総合図書館・映像ホール・シネラ実行委員会/イメージフォーラム 協力：日本映像学会西部支部

リヴァイアサン

5日【水】14:00 (88分) PROGRAM B

攻撃的な映画たち

- 「みそぎ」 2013年/ビデオ/16分/万城目純
「A FOUND BEACH-omnibus-」
2013年/ビデオ/22分/大島慶太郎
- 「生態系-20- STONE」
2013年/ビデオ/18分/小池照男
- 「ANALEMMA」
2012年/ビデオ/8分/相原郁美
- 「mort」
2012年/ビデオ/6分/青山理紗
- 「けわい、けはい」
2012年/ビデオ/3分/浅井佑子
- 「無言の乗客」
2012年/ビデオ/15分/仲本拓史

5日【水】16:20 (95分) PROGRAM C

進化するフィルム

- 「通り過ぎ」 2013年/ビデオ/30分/
ほしのあきら、マエダシゲル、佐々木望月
- 「DIGITAL-CINECALLIGRAPHY」
2013年/16ミリ/4分/倉重哲二
- 「metamorphose」
2012年/ビデオ/8分/三谷悠華
- 「Zmluva s diablom(悪魔との契約)」
2013年/16ミリ/5分/伊藤隆介
- 「L' Image de la Pucelle- II」
2013年/16ミリ/10分/太田曜
- 「MOONS(Part II)」
2013年/ビデオ/22分/手塚真
- 「Mark」
2012年/ビデオ/7分/鈴木宏忠
- 「透かしてみれば」
2013年/ビデオ/9分/奥山順市



MOONS (Part II)



Mark

5日【水】18:40 (77分) PROGRAM D

彼方の方角-風景映画集

- 「Nancy & Henry」
2013年/ビデオ/16分/田中廣太郎
- 「grained time vol.3対象との距離」
2013年/ビデオ/6分/五島一浩
- 「haze #2」
2012年/ビデオ/4分/福岡晃久
- 「丘の向こう」
2012年/ビデオ/6分/並河信也
- 「light scape」
2011年/ビデオ/12分/水野勝規
- 「IT HAS ALREADY BEEN ENDED BEFORE YOU CAN SEE THE END.」
2012年/ビデオ/11分/有川滋男
- 「Frozen」
2011年/ビデオ/22分/小瀬村真美

6日【木】14:00 (103分) PROGRAM E

対象である自分-セルフドキュメンタリーの現在

- 「秋丸・春丸」
2013年/ビデオ/20分/萩原朔美
- 「Lily」
2013年/ビデオ/11分/中野智代
- 「都市と知覚のフィールドノート1」
2013年/ビデオ/28分/黒川芳朱
- 「みずうみは人を呑み込む」
2013年/ビデオ/44分/宮川真一

通常
上映

映画の中の黒田藩

黒田藩を舞台にした黒田騒動を描いた2作品を上映。

会期：6月29日(土)～30日(日)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

- ※定員制。各回入替制。
- ※チケットはすべて当日券・前売り券はありません。
- ※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です。)
- ※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です。)



黒田騒動

6日【木】16:20 (87分) PROGRAM F

創造する声

- 「Case Study」
2012年/ビデオ/9分/森弘治
- 「SSS」
2000-2013年/ビデオ/20分/大木裕之
- 「M」
2012年/ビデオ/6分/松岡真吾
- 「記憶のマチュール5(D24)」
2013年/ビデオ/18分/
ビジュアル・ブレインズ(風間正+大津はつね)
- 「Gray Zone」
2012年/ビデオ/12分/塚原真梨佳
- 「そこにかえる」
2013年/ビデオ/22分/花岡梓

6日【木】18:40 (95分) PROGRAM G

パーソナル・パースペクティヴ

- 「Photographs from Unknown Man」
2013年/ビデオ/50分/尾沼宏星
- 「痕跡imprint-内藤藤がいた-」
2013年/ビデオ/45分/かわなかのぶひろ

7日【金】14:00 (118分) PROGRAM H

冒険するドラマ

- 「石と歌とベタ」
2012年/ビデオ/60分/大力拓哉、三浦崇志
- 「大童貞の大冒険」
2012年/ビデオ/58分/二宮健



石と歌とベタ

7日【金】16:20 (80分) PROGRAM Q

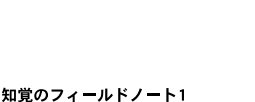
BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW Omnibus 2011-2013

2011-2013年/ビデオ/80分/前田真二郎ほか

7日【金】18:40 (83分) PROGRAM K

中国実験映画事情2013

- 「誰かの眼」
2011年/ビデオ/16分/タン・タン
- 「無題3番」
2009年/ビデオ/12分/リ・ニン
- 「海への路」
2010年/ビデオ/20分/グー・タオ
- 「飛翔」
2004年/ビデオ/5分/リ・ルオ
- 「鳥類学」
2005年/ビデオ/5分/リ・ルオ
- 「黄色い精霊」
2009年/ビデオ/6分/リウ・ウェンヤン
- 「影」
2008年/ビデオ/5分/チュウ・ユ
- 「咲き乱れ」
2011年/ビデオ/3分/イエ・ユアンユアン
- 「冷徹な心」
2012年/ビデオ/5分/ディン・シーウェイ+フー・リアン
- 「チャイニーズ・カーニバル No.10」
2008年/ビデオ/6分/チェン・ツォ+ホアン・カーイー



都市と知覚のフィールドノート1

8日【土】11:00 (77分) PROGRAM A

ジャパン・アニメーション・パノラマ

- 「弟の夢」
2013年/ビデオ/11分/外山光男
- 「終日禁止安らぎ」
2012年/ビデオ/3分/金子早織
- 「I SEE YOU SEE ME」
2013年/ビデオ/5分/河原秀樹、抜木摩耶
- 「Point in time」
2013年/ビデオ/6分/田端志津子
- 「1981-2001」
2013年/ビデオ/10分/古跡哲平
- 「euclidrive」
2013年/ビデオ/5分/中西義久
- 「Phantasm」
2013年/ビデオ/8分/Taro shinkai
- 「くつした」
2012年/ビデオ/7分/加藤都夫
- 「MIRROR」
2012年/ビデオ/6分/岩崎宏俊
- 「布団」
2012年/ビデオ/6分/水尻自子
- 「NINJA & SOLDIER」
2012年/ビデオ/10分/平林勇

8日【土】13:10 (64分) PROGRAM J

アニメーション・セレクション

- 「せきらら」
2012年/ビデオ/6分/イギリス/ポール・ブッシュ
- 「ツィーゲノルト」
2013年/ビデオ/18分/ポーランド/トマーシュ・ポバクル
- 「オディプス」
2011年/ビデオ/14分/カナダ=オランダ/ポール・ドリエッセン
- 「革命において未だ定義されざる行為」
2011年/ビデオ/12分/中国/スン・シュン
- 「此処と大いなる何処か」
2012年/ビデオ/14分/カナダ/ミッシェル・レミュール

8日【土】15:20 (83分) PROGRAM M

私も幸せが欲しい

2012年/ビデオ/83分/ロシア/アレクセイ・バラバノフ

8日【土】17:20 (90分) PROGRAM N

アフガン発・貨物200便

2007年/ビデオ/90分/ロシア/アレクセイ・バラバノフ

9日【日】11:00 (92分) PROGRAM I

シャーリー リアリティーのビジョン

2013年/ビデオ/92分/オーストリア/グスタフ・ドイチュ

9日【日】13:10 (87分) PROGRAM O

リヴァイアサン

2012年/ビデオ/87分/アメリカ=フランス=イギリス/ルシアン・キャストイン=テイラー+ヴェレナ・パラヴェル

9日【日】15:20 (180分) PROGRAM S

セントラル・リージョン

1971年/16ミリ/180分/カナダ/マイケル・スノウ

29【土】11:00 30【日】14:00

栗山大膳

監督：池田富保
出演：大河内傳次郎
黒川弥太郎

黒田長政の死後、藩主となった忠之はお秀の方の色香に惑わされ、藩政を顧みない。家老の栗山大膳は忠之を諫めようとする。戦前に作られた「黒田騒動」物の代表作。福岡出身の大スター、大河内傳次郎が貫録ある見事な大膳を演じている。

1936年/16ミリ/モノクロ/96分/日活

29【土】14:00 30【日】11:00

黒田騒動

監督：内田吐夢
出演：片岡千恵蔵
大友柳太郎

黒田藩2代目藩主忠之は、長政の信頼厚かった家老・栗山大膳よりも若い家老倉橋十太夫を重用し、軍備の増強を行う。やがて黒田藩の不穏な動きは幕府の知るところとなる。北条秀司の原作を巨匠内田吐夢が映画化した作品。時代劇のスター片岡千恵蔵が栗山大膳を演じる。

1956年/35ミリ/モノクロ/108分/東映

特別企画
公開講座

木村栄文 レトロスペクティブ

2011年に亡くなった日本を代表するテレビドキュメンタリー作家、木村栄文の代表作を上映。

会期：6月12日(水)～28日(金) ※休館日・休映日除く
観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)
※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券・前売り券はありません。
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です)
※「わの会」会員は300円。(会員証の提示が必要です)

主催：RKB毎日放送/福岡市総合図書館/映像ホール・シネラ実行委員会

16[日] 26[水] 28[金] 15:10 11:00 14:00 苦海浄土



演出：木村栄文

石牟礼道子の原作を元に、北林谷栄扮する瞽女が、水俣の町を彷徨う。水俣病患者の怒りや悲しみが画面から溢れる。第25回文化庁芸術祭大賞受賞。

1970年/ビデオ/カラー/49分

いまは冬



演出：木村栄文

詩人・クリスチャンである江口榛一は、貧しい人のための募金箱「地の塩の箱」基金運動を主催し、平等で美しい社会の実現を目指す。孤高の男の生きざまに迫った異色作。

1972年/ビデオ/カラー/35分

12[水] 18[火] 22[土] 14:00 11:00 11:00 飛べやオガチ



演出：木村栄文

前田建一は、戦時中千人もの工員を抱える前田航研を率い、「グライダーの前田」と讃えられていた。60歳を超えた前田は、高校の教師として今なおグライダーへの情熱を燃やしていた。

1970年/ビデオ/カラー/57分

あいラブ優ちゃん



演出：木村栄文

木村栄文の長女・優は精神薄弱児として生まれた。14歳の優と家族の生活を愛情を持って記録したセルフドキュメンタリー。放送批評懇談会ギャラクシー賞大賞受賞。

1976年/ビデオ/カラー/48分

12[水] 15[土] 26[水] 11:00 16:30 14:00 まっくら



演出：木村栄文

筑豊炭鉱、常田富士男と白石加代子が筑豊に生きる人を演じ、木村栄文自身がテレビレポーターとして出演する。ドラマとドキュメンタリーが交錯する作品で、炭鉱に生きる人々への愛があふれる。

1973年/ビデオ/カラー/48分

鉛の霧



演出：木村栄文

佐賀県、多久市。北島義弘は鉛を精製する工場を営んでいた。だが社員は鉛中毒になり、取引先からの援助も途絶え倒産してしまう。日本民間放送連盟賞最優優勝賞受賞。

1974年/ビデオ/カラー/41分

16[日] 21[金] 28[金] 11:00 14:00 11:00 大牟田川 小フナ釣りしかの川は



演出：木村栄文

大牟田市を流れる大牟田川は工場廃液等で汚染されていた。大牟田市で雑貨店を営む若い野口さんの生活を絡めながら、行政や企業、大学等の河川汚染に対する対応を描く。

1968年/16ミリ/カラー/27分

加東大介ボタ山へ帰る



演出：木村栄文

筑豊を舞台にした劇映画「筑豊のこどもたち」(60年)が撮影された場所や人を、主演した加東大介が再度訪ねて旧交を深める作品。

1968年/ビデオ/カラー/49分

13[木] 18[火] 22[土] 11:00 14:00 16:30 記者ありき 六鼓・菊竹淳



演出：木村栄文

福岡日日新聞(現西日本新聞)の記者・菊竹淳の生涯を描いた作品。菊竹は5・15事件において敢然とファシズムを批判した。三國連太郎が菊竹淳に扮し、彼の思想と人間性に迫る。放送文化基金賞テレビドキュメンタリー番組組賞等受賞。

1977年/ビデオ/カラー/86分

13[木] 19[水] 22[土] 14:00 11:00 14:00 むかし男ありけり



演出：木村栄文

最後の無頼派作家と言われた檀一雄。檀が晩年を過ごしたポルトガルのサンタクルスから福岡の能古島まで、俳優高倉健が檀の足跡をたどり、檀一雄の人と作品について語っていく。文化庁芸術祭優秀賞等受賞。

1984年/ビデオ/カラー/85分

15[土] 21[金] 27[木] 14:00 11:00 11:00 桜吹雪のホームラン ～証言・天才打者大下弘～



演出：木村栄文

西鉄ランオンズの中心打者であった大下弘。ホームランバッターとして天才的な才能を持ち、容姿端麗でありながら豪放磊落な人柄は多くの人を魅了した。往年のライオンズの選手など多くの人のインタビューで構成した作品。

1989年/ビデオ/カラー/81分

14[金] 19[水] 23[日] 11:00 14:00 11:00 鳳仙花～近く遙かな歌声～



演出：木村栄文

「鳳仙花」「アリラン」など朝鮮・韓国の流行歌にスポットを当てて、その歌に託された民族の思いを紐解いていく作品。美空ひばり、韓国の国民的歌手イ・ミジャなどの膨大なインタビューで構成されている。文化庁芸術祭大賞受賞。

1980年/ビデオ/カラー/72分

14[金] 20[木] 23[日] 14:00 11:00 14:00 絵描きと戦争



演出：木村栄文

坂本繁二郎と藤田嗣治。同時代に生まれて、対照的な人生を送った二人の画家を戦争記録絵画という視点で描いた作品。文化庁芸術祭優秀賞受賞。

1981年/ビデオ/カラー/92分

15[土] 20[木] 27[木] 11:00 14:00 14:00 記者それぞれの夏 ～紙面に映す日米戦争～



演出：木村栄文

太平洋戦争中の日本とアメリカの新聞報道を比較しながら、報道とは何かに迫った作品。日本とアメリカの多くの新聞記者にインタビューした作品。文化庁芸術祭作品賞受賞。

1990年/ビデオ/カラー/81分



講演会
16日(日)
14:00～15:00

人はまじめで、おかしい

講師：吉岡 忍(ノンフィクション作家)

1948年長野県生まれ。早稲田大学在学中から教育、文化、犯罪等に関する執筆活動を始め。87年日航機の墜落事故を題材にした「墜落の夏一日航123便事故全記録」(新潮社)で講談社ノンフィクション賞を受賞。日本民間放送連盟賞審査員、BPO・放送倫理検証委員会委員などを務める。その他の著書に「日本人ごっこ」(文藝春秋社)「M/世界の、憂鬱な先端」(文藝春秋社)などがある。



※開場は開演の30分前。
※講演は有料で、15時10分からの「苦海浄土」「いまは冬」の上映とセット料金です。

特別企画

香港映画は二度死ぬ～中国返還以降の挑戦

現在の文化・社会をテーマに開催する文化講演会。主催：一般財団法人福岡ユネスコ協会/福岡市総合図書館/映像ホール・シネラ実行委員会

会期：6月1日(土)
観覧料：1,200円(一般)
500円(学生・留学生)
1,000円(予約)

※定員制。開場は開演の30分前。
※予約は福岡ユネスコ協会にて、FAX:092-733-1291又はEメール:fuunesco2013@gmail.comで受け付けます。住所・氏名・連絡先を明記の上お申し込みください。
※高齢者・障がい者・「わの会」割引なし。
※観覧料は講演と映画上映のセット料金です。
※学生・留学生の人は身分証の提示が必要です。

13:30～14:45 香港映画は二度死ぬ ～中国返還以降の挑戦



講演会
講師：野崎 敏
東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授

1959年新潟県生まれ。翻訳家、エッセイスト。専門はフランス文学、映画論。主な著書に「ジャン・ルノワール 越境する映画」(青土社 サントリー学芸賞受賞)「赤ちゃん教育」(青土社 講談社エッセイ賞受賞)など主な訳書に「浴室」(ジャン・フィリップ・トゥーサン 集英社)「映画と国民国家」(ジャン・ミシェル・フロド 岩波書店)など、アジア映画評論としては「香港映画の街角」(青土社)「アジア映画の森—新世紀の映画地図」(監修 作品社)などがある。

15:00～ 玻璃の城

映画上映
監督：メイベル・チャン
出演：レオン・ライ/スーチー



1996年、自動車事故によりカップルが死亡する。二人は70年代香港大学の同級生で、ロンドンで久しぶりに再会したのだった。二人の子供達が遺品を引き取りに来て知り合い、親達が青春を過ごした香港にやって来る。70年代香港を舞台にしたノスタルジー溢れるラブストーリー。

1998年/35ミリ/カラー/111分/香港



1 **土** 13:30 講演会 / 15:00 映画上映
香港映画は二度死ぬ—中国返還以降の挑戦

2 **日** 自主上映 / 福岡映画サークル協議会例会

3 **月** 休館日

4 **火** 休映日

イ メ ー ジ フ ォ ー ラ ム ・ フ ェ ス テ ィ バ ル	5 水	14:00 プログラムB	16:20 プログラムC	18:40 プログラムD	
	6 木	14:00 プログラムE	16:20 プログラムF	18:40 プログラムG	
	7 金	14:00 プログラムH	16:20 プログラムQ	18:40 プログラムK	
	8 土	11:00 プログラムA	13:10 プログラムJ	15:20 プログラムM	17:20 プログラムN
	9 日	11:00 プログラムI	13:10 プログラムO	15:20 プログラムS	

10 **月** 休館日

11 **火** 休映日

12 **水** 11:00 まっくら / 鉛の霧 14:00 飛べやオガチ / あいラブ優ちゃん

13 **木** 11:00 記者ありき 六鼓・菊竹淳 14:00 むかし男ありけり

14 **金** 11:00 鳳仙花～近く遙かな歌声～ 14:00 絵描きと戦争

15 **土** 11:00 記者それぞれの夏 14:00 桜吹雪のホームラン 16:30 まっくら / 鉛の霧

16 **日** 11:00 大牟田川 / 加東大介ポタ山へ帰る 14:00 講演会 15:10 苦海浄土 / いまは冬

17 **月** 休館日

18 **火** 11:00 飛べやオガチ / あいラブ優ちゃん 14:00 記者ありき 六鼓・菊竹淳

19 **水** 11:00 むかし男ありけり 14:00 鳳仙花～近く遙かな歌声～

20 **木** 11:00 絵描きと戦争 14:00 記者それぞれの夏～紙面に映す日米戦争～

21 **金** 11:00 桜吹雪のホームラン～証言・天才打者大下弘～ 14:00 大牟田川 / 加東大介ポタ山へ帰る

22 **土** 11:00 飛べやオガチ / あいラブ優ちゃん 14:00 むかし男ありけり 16:30 記者ありき 六鼓・菊竹淳

23 **日** 11:00 鳳仙花～近く遙かな歌声～ 14:00 絵描きと戦争

24 **月** 休館日

25 **火** 休映日

26 **水** 11:00 苦海浄土 / いまは冬 14:00 まっくら / 鉛の霧

27 **木** 11:00 桜吹雪のホームラン～証言・天才打者大下弘～ 14:00 記者それぞれの夏～紙面に映す日米戦争～

28 **金** 11:00 大牟田川 / 加東大介ポタ山へ帰る 14:00 苦海浄土 / いまは冬

29 **土** 11:00 栗山大膳 14:00 黒田騒動

30 **日** 11:00 黒田騒動 14:00 栗山大膳

の映
黒画
田の
藩中

第330回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時：2013年6月28日(金) 12:00～13:00 ※入場無料
場 所：西日本シティ銀行本店 1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲 目：ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第13番変ロ長調 Op.130 他
演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団
主 催：公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)



「あいラブ優ちゃん」より

木村栄文 / 略歴

1935年福岡市生まれ。西南学院大学卒業後RKB毎日放送に入社。66年にテレビ演出部に配属され、多くのテレビドキュメンタリーを演出する。

70年「苦海浄土」が文化庁芸術祭大賞を受賞し、注目される。その後「まっくら」「鉛の霧」「あいラブ優ちゃん」などの作品でテレビ界の数多くの賞を受賞、「賞獲り男」の異名を持ち、テレビ番組制作者に多大な影響を与えた。94年には民放の制作者としては初めてNHKで「木村栄文の世界」と題した特集が組まれた。

1988年放送文化基金賞、1995年日本記者クラブ賞、2002年紫綬褒章を受ける。

2011年76歳で死去。その年山形ドキュメンタリー映画祭で特集上映が生まれ、映画ファンにも注目を浴びている。

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間:平成25年12月～平成26年5月
※別途配布の申込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間:平成25年5月19日(日)～6月7日(金)※休館日を除く
抽 選 日:平成25年6月 8日(土)午前11時より
抽 選 会 場:福岡市総合図書館3階 第2研究室
利 用 申 込 書:福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出ください。

自主上映のお知らせ

6月2日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品:「カラマーゾフの兄弟」12:00～

料 金:一般当日1,400円 一般前売り1,200円 シニア1,000円 中・高生800円

主 催:映画サークル協議会 TEL.092-781-2817

※詳細については、直接主催者にお尋ね下さい。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス 博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):092(852)0600

Fax:092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>